



GUNBOH

群 萌

第209号 2022年5月20日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒105-0021 東京都港区東新橋2-16-1

ルースビル402

TEL 03 (6452) 8806

FAX 03 (6452) 8807

発行責任者 寺前 敦司

編集者 化学総連事務局

info@kagaku-s.com



～巣ごもりの反動は～

全国化学労働組合総連合 会長 寺前 敦司

「正確なところは来年4月を待たねばならない」とした、あの数値。そうです。先日、2020年度の温室効果ガス排出量の確定値が公表されました。

昨年9月の本誌上で、「20年度の化石由来のCO₂排出は914百万トン(以下Mt)」、「この10年で最大のCO₂抑制効果を生みだしたものの、残念ながら680Mtには遠く及ばなかった」と書いてはみたものの、てんで外れていたりして。そんなことが頭をよぎりつつ、資料をめくっていくと、ありました。総排出量は1150Mtで、前年差▲62Mtとこの10年間で最大の減少幅、そのうち化石由来排出量は967Mtでした。「あんだ、背中が煤けてるぜ」と言うほどではないですが、まあよかったです。「意外とズレた」と感じましたが、概ね正確で、全体的な潮流は外さなかったと、胸をなでおろした次第です。

細かく見ていくと、製造業関連では鉄鋼業の寄与が▲24.0Mtと最大で、石油製品製造が▲6.2Mt、化学が▲2.9Mtと、排出量の大きい産業で生産活動の低下したことが伺えます。外出を控えた影響により、運輸業は旅客向けの自動車と航空機がそれぞれ▲12.0Mt、▲5.1Mt、貨物自動車が▲3.3Mt、その流れは宿泊・娯楽業にも波及し▲6.5Mtと記録的な減少幅を示しました。一方、おうち時間が長くなったり、在宅勤務が急増したりした影響で、家庭からの排出量は+7.2Mtと大きく増加しています。経済活動が停滞し、巣ごもり生活を余儀なくされたあの苦労は、こうしてはつきりと数字に表れたのでした。

そうなる21年度はどうなるのか、気になってきます。そこで、20年度の排出減少幅が大きかった産業の活動状況について、表1上にまとめてみました。

鉄鋼は鉄鉄生産量、化学は主要13石油化学品生産量、石油製造は原油処理量、自動車(旅客)はガソリン販売量、自動車(貨物)は軽油販売量、航空機(旅客・貨物)はジェット燃料販売量、宿泊・娯楽は客室稼働率を指標にしました。21年度分のデータが揃っていないものについては、過去5年分の実績から推定したうえで、19年度を100としてそれぞれ指数化し、それらと温室効果ガス排出量の推移から、21年度と20年度の排出量の差を算出しています。

鉄鋼業は日本の温室効果ガスの13%近くを排出する産業であるため、生産量の回復が排出量の顕著な増加をもたらします。化学や石油製造は戻り幅が小さく、大打撃を受けた航空機、宿泊・娯楽は大きく戻したもののコロナ禍前に

はほど遠い状況です。一方、下がった状況から変化が見られないのが自動車で、もしかすると、新しい生活様式が固定化しつつあることを示唆しているのかもしれませんが。

それから、我々の生活を根底から支えている電力について、その由来を表1下に示しました。まず目立つのが原子力です。20年度に指数が急減し、21年度に復活したことが分かります。太陽光、バイオマスも堅調であったため、21年度の非化石電力指数は20年度に比べて大きく伸びています。日本の電力需要は年間10億Mwhでほぼ一定なため、非化石電力が伸びる分、化石電力由来の排出量が低減すると見込まれるのです。非化石電力が20年度で足踏みしたことは、実は、「意外とズレた」一因でもありました。

表1 各種指数とその温室効果ガス排出量の差

	活動および発電指数 (19年度=100)		21年度と20 年度との差 (MtCO ₂)
	20年度	21年度	
鉄鋼*1	81.0	92.6	15.69
化学*2	90.9	96.2	1.72
石油製造*3	80.1	84.5	1.60
自動車(旅客)*3	92.1	91.9	0.00
自動車(貨物)*3	94.7	95.4	0.88
航空機(旅客・貨物)*3	53.1	65.7	1.46
宿泊・娯楽*4	50.4	61.5	1.95
活動計(MtCO ₂)			23.30
非化石電力*5	98.4	119.3	-
(水力)	(100.6)	(101.8)	-
(地熱)	(104.9)	(105.0)	-
(風力)	(125.8)	(127.3)	-
(原子力)	(60.6)	(113.5)	-
(太陽光)	(115.3)	(129.9)	-
(バイオマス)	(118.9)	(161.5)	-
化石電力*5,*6	98.91	94.17	-25.72
電力計(MtCO ₂)			-25.72

これらをまとめると、21年度は巣ごもりの反動で産業界の排出量が増加するものの、非化石電力の伸展がその影響を相殺します。その結果、全体の排出量は1150Mtから僅かに下がるのみで、30年度目標816Mtには、やはりほど遠いと言えるでしょう。

参考資料*1: 生産統計(22年2月まで)、一般社団法人日本鉄鋼連盟、*2: 主要石油化学製品生産実績(22年3月まで)、石油化学工業協会、*3: 石油統計(確報、22年2月まで)、資源エネルギー庁、*4: 宿泊旅行統計調査(22年2月まで)、観光庁、*5: 電力調査統計(21年12月まで)、資源エネルギー庁、*6: エネルギー需給実績(確報、2020年度)、資源エネルギー庁

化学総連活動報告

【第100回調査担当者会議】

2021秋季労使交渉を実施した3単組よりその取り組み結果をご報告いただき、続いて2022春季労使交渉の検討状況について情報交換を行いました。その後、三洋化成工業労働組合とUBE労働組合からオプション調査結果のご報告をいただきました。最後に労働条件基本台帳の改善等について議論しました。

春季労使交渉のトピックスとしては以下の通りです。

<賃金>

ベースアップの他、賃金改善に取り組む単組が多いようです。

<一時金>

業績が回復傾向にあり、昨年の一時金より大幅な上昇が見込まれるようです。

<その他要求事項等>

定年延長、再雇用制度の見直し及び処遇改善の他、時間外・休日出勤の割増率アップ、積立保存年休の利用条件拡大などに取り組む単組が多いようです。

日 時	2022年3月11日(金)
方 式	Web開催
参加人数	20名



集合写真



開会挨拶する竹内幹事



オプション調査報告を行う
石丸氏 (三洋化成工業労組)



オプション調査報告を行う
安福氏 (UBE 労組)



質問する山本氏
(AGC 労組)



質問する佐内氏
(日本ゼオン労組)



質問する早川氏
(丸善石油化学労組)



質問する大野氏
(DIC 労組)

【2022年度 第2回書記長・事務局長会議】

日 時 2022年3月18日(金)
方 式 Web開催
参加人数 20名

前半は労働組合福祉協会の川嶋様、池田様をお招きし「労災保険の正しい加入方法」についてご講演をいただきました。



開会挨拶する松村幹事

専従の委員長や非専従の執行委員は特別加入することで労災保険の対象になることや、非専従の執行委員については会社で加入している労災保険と合算が可能であり、補償内容については最低限に設定することで掛け金を抑えることができること、そして労災保険は民間の保険と比較して補償が手厚いことを学びました。

後半は新型コロナウイルスの影響により、組合予算が計画通りに執行が出来ていない状況から「組合費の見直し」について情報交換を行いました。新型コロナウイルスの影響を受ける前と、受けた後の予算の執行状況を確認し多くの単組で執行できていない状況を共有し、その対応として組合費計算式を変更するまたは徴収回数を減らすなどの対応をしていることがわかりました。

その他、税務処理、投資の活用状況、人件費の適正値など組織運営に関わる議論を行い今後の活動の一助に繋げました。



労働組合福祉協会の川嶋氏(左)、池田氏(右)



質問する畑中氏(ダイセル労組)



質問する中島氏(DIC 労組)

【幹事会・愛知地連との情報交換】

地連担当役員の寺前会長より挨拶をいただいた後、意見交換を実施しました。

情報交換では活動で困っていることなどを気軽に書き込めるような掲示板を作成し活用することや、Web環境に慣れてきたことから頻度をあげて情報交換を実施する必要があるなど活発な情報交換ができました。情報交換でいただいた意見・要望については、事務局としても鋭意検討し今後の地連活動の活性化に繋げていきたいと思っております。



開会挨拶する寺前会長



質問する勅使河原氏(DIC 労組)



質問する加藤氏(三井化学労組)



質問する石浜氏(三洋化成工業労組)

日 時 2022年3月25日(金) 場 所 名鉄グランドホテル 参加人数 32名(Web併用)



安全標語審査結果

22年1月6日～2月14日に実施した安全標語の審査結果を報告します。今回32作品の募集があり厳選な審査の結果、日本ゼオン労組 廷々 和彰さんの作品が最優秀賞に輝きました。おめでとうございます。最優秀賞の作品はポスターに掲載し各単組へ配布しますので安全活動の啓蒙にご活用をお願いします。今回、廷々さんからメッセージをいただきましたので紹介します。

最優秀賞

あ！危ない！！ あなたが感じたその危険 残しちゃいけない 仲間のために

日本ゼオン労組 廷々 和彰さん

優秀賞

危険を見つけるあなたの目 危険を摘み取るあなたの手 事故の芽を摘むゼロ災職場

J S R 労組 鹿島支部 根本 啓史さん

大きな事故の小さな予兆 事前に摘み取れ危険の芽 危険を予知して0災職場！

U B E 労組 化学第二支部 寺本 親司さん

だろー・はずだが命取り 五感活かして無災害 守ろうルールとみんなの命

デンカ労組 千葉支部 西田 智弘さん

指摘するのは思いやり 指摘を受けて感謝の気持ち みんなで創ろうゼロ災職場

昭和電工ユニオン 東長原支部 藤崎 拓磨さん

一歩先読む危険予知 「もしも」の気持ちがみんなを守る

日本板硝子労組 津支部 堀 瑞貴さん

安全意識は心の保護具 いつも着用忘れずに！ ゼロ災でいこう ヨシ！

積水化学労組 本部 小瀬村 悠美さん

小さな気づきを 大きな成果へ みんなで創ろう ゼロ災職場

J N C 労組 富士支部 柚木 浩平さん



廷々 和彰さん

この度は、最優秀賞への表彰、誠にありがとうございます。
同じ現場にいる仲間にケガをさせないと思いやる心が、安全な現場を作ると思います。
この標語が、各組織の安全に少しでもお役立てになれば幸いです。
ご安全に。



書き損じはがきキャンペーン結果

21年12月20日～22年3月10日に実施した書き損じはがきキャンペーンの報告を行います。皆さんからいただいた寄付(未使用・書き損じはがき3,439枚、未使用切手556枚、使用済み切手5.845kg)についてはハンガー・フリー・ワールドへ送付し換金した結果197,235円となりました。キャンペーンへのご理解・ご協力誠にありがとうございました。今回、担当者よりメッセージをいただきましたので紹介します。

国際協力NGOハンガー・フリー・ワールドの田中梨佳です。国内活動担当として、日本でのご支援の輪を広げること、そして食品の大量な輸入と廃棄などにより、世界の食料問題に影響を与える日本の食の仕組みも変えていくために活動しています。

さて、今年も『書き損じはがき回収キャンペーン』にご協力頂きまして、誠にありがとうございました。世界では十分な食料が生産されているのに、10人に1人が飢餓に直面しています。心も身体も健康に生きていくために必要な食料を自らの手で得られることは、人間のもっとも基本的な権利のひとつです。みなさまからいただいた物品は国内で換金し寄付金とさせていただきます。新型コロナウイルスや紛争による食料価格の高騰で、その権利の実現が厳しさを増している地域において、子どもや妊産婦の栄養改善、収入向上プログラム、協同組合支援などに使わせていただきます。引き続きご支援をいただけますよう、よろしく願い申し上げます。



特定非営利活動法人
ハンガー・フリー・ワールド
田中 梨佳